

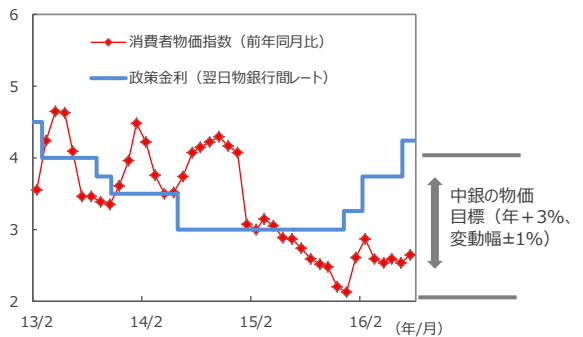
今日のトピック **メキシコの金融政策（2016年8月）**

政策金利を据え置き：ペソの動向を注視

ポイント1 政策金利を据え置き

- メキシコ銀行（中央銀行、以下中銀）は11日、政策金利（翌日物銀行間レート）を4.25%に据え置くことを決めました。
- 中銀は、通貨安に歯止めをかけるため、今年2月に続き、6月30日にも0.5%の追加利上げを行いました。その後も、メキシコペソは最安値圏でもみありますが、4-6月期GDPが前期比▲0.3%となるなど、景気に減速感が見られることもあり、現状の金融政策を維持したと見られます。

【政策金利と消費者物価指数】

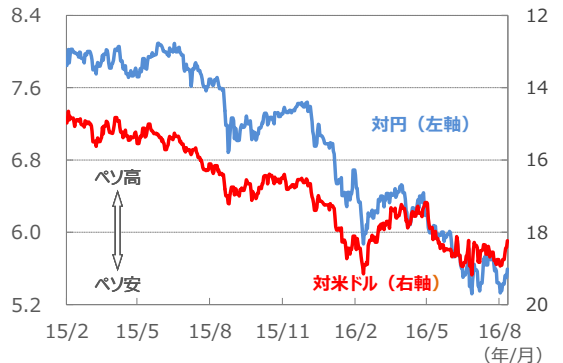


(注) 政策金利は2013年2月1日～2016年8月11日。
消費者物価指数は2013年2月～2016年7月。
(出所) Bloomberg L.P.、メキシコ銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 通貨安警戒姿勢を継続

- 7月の消費者物価指数は前年同月比+2.65%と、中銀が目標とする+3.0%を下回る水準にあります。ただし、中銀は、声明文の中で、通貨ペソの下落が将来の物価情勢に悪影響を与える可能性があるとしています。
- 中銀は、今後もペソの動きや米国の金融政策を注視しながら、インフレが目標の3%に収束するよう機動的な措置をとると述べており、必要に応じて利上げを行うスタンスと見られます。

【メキシコペソ】



(注) データ期間は2015年2月1日～2016年8月11日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 機動的な金融政策がペソをサポート

- ペソは11日、1米ドル = 18.22ペソ、1ペソ = 5.59円で引けました。ペソについては、米国の利上げ観測の強弱に加え、米国との国境間の壁建設や移民排斥などを主張している、共和党のトランプ候補の支持率など、米国の大統領選挙の行方

が当面注目材料となりそうです。為替市場は、世界景気や政治情勢の不透明感などから、不安定な局面を迎える可能性があります。中銀が物価上昇や通貨下落の抑制に機動的に取り組む姿勢は、ペソの下支え要因になると考えられます。

ここもチェック! 2016年 7月21日 **ブラジルの金融政策（2016年7月）**
2016年 7月 4日 **メキシコ中銀が4カ月ぶりの利上げで通貨を下支え**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。